

地球温暖化防止実行計画

平成 23 年 11 月

株式会社山武 ビルシステムカンパニー北陸支店

1、事業の内容

[山武全社]

azbil グループの中核として、“計測と制御”の技術をもとに、人々の安心・快適・達成感と地球環境への貢献をめざす「人を中心としたオートメーション」を追求。建物市場でビルディングオートメーション事業を、工場やプラント市場でアドバンスオートメーション事業を、ライフラインや健康などの生活に密着した市場において、ライフオートメーション事業を展開しています。また、一層の成長に向けて、海外市場においても積極的に事業を展開しています。

[ビルディングオートメーション事業]

ビルディングオートメーションシステム、セキュリティシステムから、アプリケーションソフト、コントローラ、バルブ、センサまでのフルラインナップを自社にて開発、製造することで高機能、高品質を実現。計装設計から販売、エンジニアリング、サービス、省エネソリューション、設備の運営管理までを一貫した体制で提供し、独自の環境制御技術で、人々に安全かつ快適で、効率のよい執務・生産空間の創造と、環境負荷低減に貢献します。

なお、本事業は、ビルシステムカンパニーが担当しています。

以上の事業内容より、ビルシステムカンパニー北陸支店では以下の事業を展開しています。

- (1) ビルディングオートメーションシステム、セキュリティシステムの提案、設計、販売、エンジニアリング、サービス業務。
- (2) 省エネソリューション（ESCO事業含む）の提案、設計、販売、エンジニアリング、サービス業務。
- (3) ビル設備全般の運営維持管理業務

* 北陸支店従業員数 25人(平成23年11月現在)

2、計画の目的

[azbil グループ企業行動指針(抜粋)]

環境保護の推進

azbil グループの役員と社員は、地球環境・資源の保護ならびに環境汚染防止を推進し、かけがえのない豊かな地球を後世に引き継ぐよう努める。

3、計画の期間

地球温暖化実行計画の期間は、平成23年度から平成25年度までの3年間とする。

4、計画の範囲

この計画の範囲は、北陸支店のみとする。

5、温室効果ガス排出量の現況（ビルシステムカンパニー北陸支店）

（１）基準年度（平成１８年度）

項目	消費量	二酸化炭素換算量(kg・CO2)	割合(%)
電力	59,506 kWh	22,493.3	31.6
都市ガス(空調)	5,368 m3	11,315.7	15.9
ガソリン	16,102 L	37,388.1	52.5
合計		71,197.1	100

*参考 紙購買量（A4換算）：200,000枚

（２）直近年度（平成２２年度）

項目	消費量	二酸化炭素換算量(kg・CO2)	割合(%)
電力	29,909 kWh	11,305.6	18.1
都市ガス(空調)	4,485 m3	9,454.4	15.2
ガソリン	17,894 L	41,549.3	66.7
合計		62,309.3	100

*参考 紙購買量（A4換算）：214,500枚

（３）排出要因

電力：照明、OA機器（パソコン、複合プリンター、プロジェクター等）、冷蔵庫

都市ガス：空調用ガスヒートポンプ

ガソリン：社有車(計8台)

6、温室効果ガス排出量の削減目標と期間

azbilグループのCO₂総排出量を2013年度（平成25年度）までに、2006年度（平成18年度）比で10%以上削減することを経営方針とし、全員参加で省エネルギー活動に取り組んでいます。

また、ビルシステムカンパニー北陸支店もこれに準じています。

現況から、平成18年度比10%以上削減に関しては、平成22年度時点で12.5%削減と既に達成していますが、ガソリン量の増加や紙購買量（＝使用量）の増加もありますので、状況分析し更なる削減を目指していきます。

項目	平成18年度(基準)	平成25年度(目標)	削減率(%)
二酸化炭素換算量(kg・CO2)	71,197.1	64,077.4	10

7、温室効果ガス削減に向けての主な対策

[山武全社での取組み]

山武では、事業所それぞれの特性に合わせ、身近なアイデアを駆使した省エネ対策から、先端技術を駆使した省エネ対策まで幅広く対策を行っています。2010年度（2011年3月期）も引き続き、大規模事業所ごとの担当役員や、建物・エリア・部門ごとの責任者と推進者の下、それぞれにCO2排出量の削減目標を設定し、取組みを進めました。

2011年度（2012年3月期）は、夏場の節電対策も見据え、電力使用予測や見える化のシステムを拡充し、さらに全社での省エネ対策を強化していきます。

以上の全社取組みより、ビルシステムカンパニー北陸支店では以下の取組みを推進していきます。

- (1) 昼休み消灯徹底（昼休み時間はすべて消灯）
- (2) 不必要箇所の照明、空調 OFF
 - 入り口、CAD エリアは未使用時 OFF
 - 夜間、休日は未使用箇所はすべて OFF
 - 照明の間引き
 - コピー機の省電力モード設定変更（60分 1分）
 - PC、PRT 未使用時電源 OFF（夜間、休日徹底）
- (3) 定時退勤日（水曜日）の定時帰宅徹底
- (4) 空調設定温度厳守
 - 冷房：28、暖房：20
 - 温度設定変更時は業務 GR へ申請（勝手に変えない）
- (5) コピー、プリンターの使用削減
 - 電子媒体にて情報やり取り推進。（データ保管方法を明確にする）
 - * 裏紙使用：業務 GR にて紙補給徹底
 - * カラーコピーの使用は客先提出書類以外禁止
 - * 印刷した紙の放置は厳禁。
- (6) ごみの削減
 - 産廃品の現場処理要請を徹底
 - 不要な印刷禁止（上記5の取組み）
- (7) ガソリン使用の削減
 - エコドライブの推進（テレマティックスの導入）
 - FIT、プリウスの活用
 - 長距離運転者は、低燃費車使用
 - 営業車の持ち帰り削減。（原則禁止）
 - 必要時は申請書発行と GM の了承。
 - タクシーの活用。

8、その他の環境対策（全社取組み）

（１）エコファクトリー／エコオフィス

- ・グループ会社の生産工場への省エネノウハウ展開
- ・電気自動車の導入
当社成田営業所に試行導入
- ・国内クレジットの先進的な活用
国内クレジット支援事業者として活動
EVコミュニティ「えこりは」への参加

（２）エコプロダクト／エコサービス

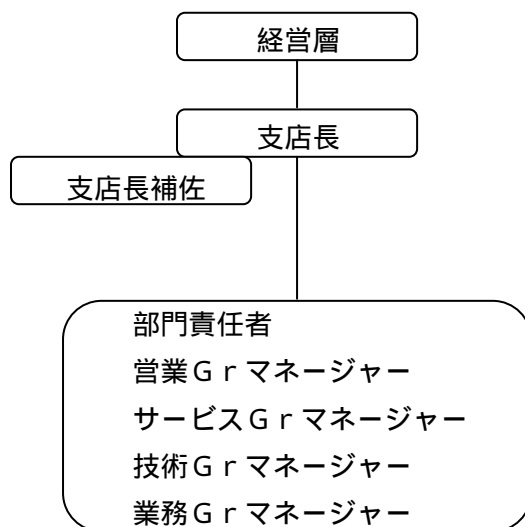
- ・環境配慮型の自動制御盤「ECO盤」の開発、販売
- ・グリーン調達の推進（平成22年度グリーン調達率：97%）
- ・省エネルギーソリューション事業（ESCO事業等）の推進

（３）エココミュニケーション

- ・社員向け環境啓発の推進
eco検定学習・取得の支援
- ・社員家族向けの啓発推進
子供eco検定の試験会場提供
- ・ビーチクリーン活動などの実施

9、計画の推進体制

（１）組織



(2) 社員への研修

目標

- ・環境に関する一般教育、従事者教育

実施項目

- ・目的目標、実施計画の教育
- ・転入者教育（環境方針含む）
- ・著しい環境側面／緊急事態の従事者に対する教育

問合せ先

株式会社山武 ビルシステムカンパニー北陸支店

担当：大坪 直美

TEL：076-222-2814

FAX：076-264-8312

URL：<http://www.azbil.com/jp>